

上宇部小 実践⑦	命のつながりを考えて生きるということ		
実施日時	9月中旬	実施場所	教室
対象	5年生	指導者	栄養教諭 ・ 担任
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	生きるために他の生命をいただいて生きていることに気づき、命を大切に育てようとする態度を育てる。		
内容	<p>めあて：「いのちをいただく」を読んで、「いただく」ことについて考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いただく」ということについて、気づきを話し合う。 ○ 教材を知り、気になった人物とその理由を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・女の子の想い ・女の子のおじいさんの想い ・坂本さんの想い ・しのぶ君の想い ○ それぞれの人物に共通する想いについて、話し合う。 ○ 話し合いをして考えたり感じたりしたことを道徳ノートに書く。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">    </div>		
児童 の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○ 坂本さんは仕事なんだけど、毎回、そういう思いをするのは大変だなと思った。 ○ みいちゃんと別れなくてはいけない女の子がかわいそうだった。 ○ 女の子が泣きながら「おいしい」とみいちゃんを食べるのが心に残った。 ○ 「いのちをいただく」ということは、こういうことがあるのと知った。 ○ 私たちは、食べないと生きていけないから、あまり残さずきちんと食べないといけないなと思った。 		
成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食べ物の大切さ、動植物の命の犠牲に立って、自分たちが生きていることについて、理解し、考える児童が見られた。 ○ 教材の力があるので、1時間単位の授業でなく2時間で行ってじっくり考えたり感じたりする指導方法もあった。 ○ 道徳の授業だけでなく、学校教育全体で取り組み続ける必要があり、より計画的・意図的な指導計画を立てられるようにする。 		